

「CoA に対する Subclavian flap aortoplasty の長期成績」

1. 研究の対象

1999 年 1 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日までに当院にて Subclavian flap aortoplasty を受けられた方を対象とします。

2. 研究目的・方法

研究期間は 2026 年 5 月(倫理申請承認後)～2027 年 3 月までの予定です。

大動脈縮窄症(CoA)に対する外科治療として端々吻合術が主流となっているが、鎖骨下動脈フラップ形成術(subclavian flap aortoplasty: SFA)は張力の少ない再建が可能といった利点を有する。一方で再狭窄や左上肢虚血の懸念から近年は施行頻度が低下しています。しかしながら、SFA の長期成績に関する報告は限られており、特に本邦における長期フォローの検討は十分ではありません。

目的は当院における SFA 施行例の長期成績を後方視的に検討し、その有用性および再介入、遠隔期合併症について明らかにすることです。

経過観察中に行われた検査データ等を診療情報より抽出し解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報より手術時の患者背景、その後の再手術の有無、遠隔期の身体所見や大動脈の検査画像等の情報を抽出し解析を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立こども病院 心臓血管外科 庭野陽樹（研究責任者）

住所：宮城県仙台市青葉区落合 4-3-17

電話番号：00570-003-876（ナビダイヤル）